

## 競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件 名 東京国際空港雨水排水ポンプ設備用監視装置工事

開札年月日 令和6年2月21日 （見積成立日 令和6年3月21日 ）

入札執行官署 東京航空局

見積成立金額 ￥192,500,000 -

見積成立者 八洲電機株式会社

予定価格 ￥250,459,000 -

積算額 ￥250,459,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥227,690,000 -

調査基準価格 ￥230,417,000 - 調査基準価格の100/110 ￥209,470,000 -

基準評価値 43.919

低入札価格調査実施済 第1回 落札

入札参加者	評価点 (満点152点)	第1回入札			第2回入札			摘要
		入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	
八洲電機株式会社	111.0	175,000,000	63.428	○				第1回 落札
シンヨー電器株式会社	116.5	190,000,000	61.315	○				

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。

※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。

※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。

※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。



## 低入札価格調査の実施概要

工 事 名 : 東京国際空港雨水排水ポンプ設備用監視装置工事

調査を実施した業者名・住所 : 八洲電機株式会社 東京都港区新橋3-1-1

項 目	内 容
① その価格により入札した理由	直接工事費について、主要機器である監視装置は、入札者の子会社から調達することとしており、機器購入価格の相当な低減が可能であることを確認した。また、共通仮設費については、グループ会社を一次下請けとして採用するとともに、同社及び二次下請けを東京国際空港における同種工事を経験した会社で構成することで、現場経験の観点から低減できることを確認した。 企業努力により必要最低限の計上を行うという受注意欲の表れであることをヒアリングにより確認した。 以上を理由として当該価格の入札を行っている。
② 契約対象工事付近における手持工事の状況	コスト削減に寄与する対象工事現場付近の手持ち工事が無いことを確認した。
③ 契約対象工事に関連する手持工事の状況	対象工事関連の手持ち工事が無いことを確認した。
④ 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等の関連（地理的条件）	工事箇所と入札者事務所や倉庫等の所在地が離れており、コスト削減に寄与することが無いことを確認した。なお、工事箇所付近へ現場事務所の設置を検討されており、それらの費用も見込んでいることを併せてヒアリングにより確認した。
⑤ 手持資材の状況	手持ち機械は有しては無いものの、必要なものは下請け業者において行う予定であり、見積に計上されていることを確認した。
⑥ 資材購入先及び購入先と入札者との関係	設置する機器の仕様として不足が無いことを確認した。なお、主要機器においては積算価格の3割程度で入札しているものの、子会社から見積徴収した価格で機器購入価格について相当な低減ができることや主要機器の仕様についても発注仕様書通りの内容であることをヒアリングにより確認した。
⑦ 手持機械数の状況	手持ち機械は有しては無いものの、必要なものは下請け業者において行う予定であり、見積に計上されていることを確認した。
⑧ 労務者の具体的供給見通し	労務者の確保計画は長年取引しているグループ会社及び子会社を予定しており、労務単価においても問題ないことをヒアリングにより確認した。
⑨ 過去に施工した公共工事名及び発注者	過去同種工事について、成績評定点の該当工事はすべて65点以上であり適切に施工が完了していることを確認した。
⑩ 経営内容	調査対象者は過去にも官公庁発注を含む多くの工事を受注しており問題無い。
⑪ 1から10までの事情徴収した結果についての調査検討	調査の結果、低入札の原因は直接工事費および共通仮設費の低価格が原因であることを確認した。 直接工事費の資機材の調達について、主要機器は当局の積算価格と乖離があるが、子会社を購入先としていることから機器購入価格の相当な低減が図られており、不当に価格を下げているとは認められなかった。また、共通仮設費については、グループ会社を一次下請けとして採用するとともに、同社及び二次下請けを東京国際空港における同種工事の実績ある子会社を下請け会社とすることで、安全や品質管理に資する費用は適切に計上していることや企業努力により必要最低限の計上を行うという受注意欲の表れを確認した。 以上の結果により、今回の入札額は子会社やグループ会社との関係性、当該空港における実績および企業努力により低減された価格であり、過去の公共工事実績からも施工面についての問題はないと考えられるため、契約の内容に適合した履行がされない恐れがあるとは認められなかった。 ただし、施工にあたっては監督体制を強化（総括監督員を1名追加）し、品質の確保、労働条件の悪化防止、安全対策の確保等に努めることとする。
⑫ 公共工事の成績情報	過去の実績において概ね良好に施工されている。
⑬ 経営状況	特に問題なし。
⑭ 信用状況	特に問題なし。
⑮ その他の必要事項	特になし。